



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
1967

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 中村 哲朗
幹 事 森信 秀樹

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RI テマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS
「ロータリーの未来は
あなたの手の中に」

本年度会長 テマ
「ロータリーの心で周囲を包もう」

「ロータリー理解推進月間」

2010年 1 月 14 日 第1943回例会

◆ 会長時間 ◆

中村(哲)会長



松の内もあっという間に過ぎ、早1月も半ばとなりました。これから寒い日が続くと思われ、予想されますので、体調に十分ご注意くださいと思います。

さて先週の例会終了後（1月7日）に定例理事会を開催いたしました。終了したのが午後4時40分頃で、本年度最長時間を記録しました。理事役員の方々には、長時間割いて頂き誠に申し訳ないと思っています。議長として私の至らなさもありますが、理事役員の皆さんから活発なご意見が出ますし、通常の議案に加えて創立40周年記念行事に関する議案が加わっておりますので時間が掛かってしまいました。私は議案の審議に関し、いろいろな観点から議論し、当クラブとして最善の方向を見出すことは極めて重要であると思っておりますし、意見集約し実行に移す事は、理事会メンバーの一番重要な責務だと思っております。また創立40周年記念行事に関する各小委員会を開催して頂いており、皆様方のご協力を頂いております。3月6日に向けて時間をかけ、内容の充実をお願いいたします。

● 会務報告

森信幹事

※例会臨時変更

2月1日(月) 広島東南RC「創立50周年記念
式典・祝賀会」17:00～ANA

※例会終了後、4階会議室において長期ビジョン
検討委員会を開催いたしますので、メンバーは
出席願います。

● 委員会報告

出席報告 武田委員

本 日 (1月14日・木曜日)

会員数	84名	出席者	73名
欠席者	11名	ご来客	6名
ご来賓	0名	ゲスト	1名
		計	80名

前々回(12月24日・木曜日)

出席率 100%



※新世代・インターアクト委員会

柴田委員長



鈴峯学園 I A C とのスキーツアー開催のご案内
と き／平成22年2月7日(日) 6:15～19:00
ところ／八幡高原191スキー場
参加費／5,000円(会員、家族：同額)

※ S A A 委員会 池田委員長

お知らせ

S A A 委員会では来週、例会食事についてのアンケート調査を予定しています。

和食・洋食・中華それぞれについて、メニュー・ボリューム・味や食事全般の事などについてご意見をいただきたいと思います。

アンケート結果をもとに、課題があればホテルの担当者と話をしたいと思います。

例会食事は限られた予算内で提供していますが、できるだけ良いものにしていければと考えております。

来週アンケート用紙をボックスに入れておきます。よろしくお願いします。

※ 姉妹クラブ友好委員会 金本委員長

台南 R C との青少年短期交換事業について、受入メンバー3名の受入家族が次のとおり決まりました。

中村哲朗会長

安部憲明会員の次男安部秀法さん

沖 清会員

ご協力に感謝申し上げます。

また、派遣メンバーが次のとおり2名決まりました。

安部憲明会員の次男安部秀法さんの長女

安部満里菜さん 12才

柴田脩司会員の息子さん

柴田 聡司さん 13才

ご協力ありがとうございます。

なお、派遣メンバーはもう1名募集しておりますので、よろしくお願いいたします。

※ 会報雑誌・広報委員会 大西委員長



ロータリーの友誌紹介

祝 連続出席100% (4名)

坂田君 (26年)	荒谷君 (19年)
井原君 (18年)	加藤君 (3年)

🎁 ご結婚記念日おめでとうございます。

(6名)

安部君 (4日)	渋谷君 (8日)
上田君 (9日)	中岡君 (10日)
西原君 (13日)	前橋君 (31日)

■ 卓 話

年 男 放 談

村 上 昇 会 員



皆様明けましておめでとう御座います。

今年、年男と言う事で貴重な時間を頂きありがとうございます。

昨年5月14日伝統ある広島西ロータリークラブに入会させていただき、早くも8ヶ月が経過しました。先輩の方々に優しくご指導して頂き少しずつ慣れてきました。感謝申し上げます。

昨年12月10日新入会員自己紹介でスピーチをする機会を与えて頂きましたが、充分にお話できませんでしたので、今回はもう少し詳しくお話させて頂きたいと思います。

60歳? と自分に問いかけてみましたが、果たして今まで何をしてきたの? と思い起こしてみても何も思い浮かびません。

長期的な展望も無く、ただ目の前の事象に振り回されて来たように思います。

私の生まれた年は1950年ですが、朝鮮戦争が勃発し日本経済は戦後の混乱期を脱出し高度成長を成し遂げた時代でした。

重工業が目覚しく発展し、国民の生活も豊かになりましたが、いつの間にか「軽薄短小」などと言う先端技術産業がもてはやされ、バブルの崩壊に至る時代を経験し、まるで人間が生まれて成長す

る過程と同じような日本の成長期を見せて頂いたように思います。これからどうすれば良いのか不安をもっています。

一方この時代をいかにして克服するかは各個人の工夫次第で如何様にもなると確信しています。

永い間「寅の子」と言われましたが、いつの間にか孫まで出来ました。

残りの人生を音楽の「終章(エンディング)」に例えて楽しみたいと思います。

~~~~~



## 加藤 博基 会員

年男という事でお話をする機会を頂きました加藤でございます。4回目の年男ですので今年で48になりますが、8月です。

まだまだ実感は沸いてきませんし、2007年に新会員卓話をさせていただき何を改めて話せばいいのか全く見当が付きません。

全くもって皆さんが期待されているような面白い話も出来ませんが、はじめに寅年の人の性格、今日は特に自分を戒めるためにも短所の方を少し調べてみました。それを少し紹介してそのあと、入会丁度3年目での西RCの感想とでも申しませうか、僭越ですがお話をさせていただきます。

まずは寅年の短所から・・・

1つ目の短所は、手堅く用心深くただその度が過ぎて、つねにクヨクヨと思ひ煩う人が多い。つまりことにあたっていつも迷い、躊躇しないでもよい些細なことに躊躇し、いつまでも行動に移せないでいる例が多い。もちろん、ひとたびその人なりの見通しがつけば、他のだれよりも果敢さを発揮し、ときには世人をあっといわせるような偉業をやりとげるのだが、残念ながらそれができないでクヨクヨのしっぱなしで不発に終わってしまうのである。したがってクヨクヨもほどほどに、ということになろう。

2つ目は、これも“手堅さ”のひとつの表現でしょうが、行いがやたらと慎重で完全主義、一挙一動あやまりのないようあまりにもスローな人が多

い。たとえば、文字を書くにも一点一画に気をつかいすぎ、弁当をたべるにも端から端まで一粒のメシツブも残さないようゆっくりと食べ、机の上の鉛筆や消ゴムの位置までそのつど気を配り、掃除をすればミクロン単位の一片の塵埃の存在も許さない、というのがときである。

つまり、やることなすことやたらと手堅く完全主義で、たしかに間違いはないのだが、その反面あまりにもスローな動作になってしまい、ときと場合によってはちょっと損なこともあるようです。つまり1つ目が用心深いゆえくよくよと思ひ煩う、2つ目は完全主義がゆえ慎重過ぎる。この2つは自分でも結構当てはまると思います。仕事に関して割とくよくよと引きずるタイプですが、会社や社員の前では当然愚痴は言えませんから結構自宅に帰って家内に愚痴る事があります。そうするといつまでも言わんのかと叱られる事が多々あります。情けない限りです。

3つ目愛想が悪く、威張るタイプ、とありますが、まあこれは商売人としてこれは該当しないかな、と自身では感じておりますが自分では気づいてないのかもしれないかもしれません。メンバーの皆さんいかがでしょうか。次に強情で厳しく、背伸びをするタイプで自身を大きく見せようとデカイことを言うことがあります。やはり寅ですので虚勢を張る部分があるのか、当たっているかもしれません。まあ西RCに居させていただいている事自体が私としては背伸びをしているのでは、と思っています。では、くよくよ思い、慎重すぎる強情で厳しく背伸びをするタイプの私から見た西RCの3年間の感想をお話させていただきます。ちょうど今月18日で入会3年が経ち、いわゆる義務出席から解放されるわけですが、ある方にそれを言うと馬鹿じゃノー、その頃になると役が廻って来て嫌でも行事に参加せにゃあいけんよーになるよ、と言われてさすが良く出来たロータリーのシステムに感心しておりました。

但し当然この場で話す事ですので、良いと思った事しか話せませんのでご了承をお願いします。といっても何ら不満もございません。私は40まで青年会議所に入っており、そのせいでいくつかロータリーからお声掛けを頂いたのは事実です。ただ私の叔父である社長の松林がロータリアンなも

のですから、ロータリーに関しては一切お任せでむしろ、先ほど申したように私のようなものが入る所ではないと思っておりました。そんなある日突然社長室に呼ばれ、そこに同じ商工センター食品団地の現中村会長がいらっしゃり、社長から西にそろそろ入りなさい、と言われ、それまで社長から西ののに字も聞いてなかった私は、突然の話しで、中村さんを目の前に正直いやとも言えず、ハイとも言えず困惑したことを今でも鮮明に記憶しております。しかしながら結論から申しますと、入れていただいて良かった、またそれが西ロータリーでホントに良かった、と感じております。本当です。中村会長。感謝に絶えません。

冒頭 J C に在籍していた、と申しましたが、どうしても J C と同じように思いがちですが実際は全く違っておりました。皆さん新会員にも丁寧に対応していただけますし、40過ぎの方ばかりですので当たり前ですが、皆さんとても紳士的です。私の周りの J C 出身者はやたらロータリーを敬遠する原因のひとつが、J C っぽい上下関係が極めて厳しいところという印象を持っているようです。それと2つ目が夜のお付き合いの頻度が激しいのでは、という意見も聞きますが、少なくとも西ロータリーは全く無いよ、と言っておりますが、その辺りの誤解が新会員勧誘に随分障害になっているように思います。

私は入会して半年後の7月から紫友会の世話人をさせていただきました。推薦者の新原さんから言われたのが、週1回の例会だけだとなかなか仲良くなれないので、出来れば何か同好会に入ってお世話したら良いよ、と言われておりましたのでそれは全く抵抗なくさせていただきました。世話人で一緒にさせていただいて印象に残ったのは上田さんです。上田さんとはご子息と商工センターの青年部で一緒にさせていただいており、知らない方のように思えませんでした。ご存知のように世話人は下の者が殆どお世話するのが当たり前ですが、上田さんはその事をとてもとても気にされ、いつも気を遣っていただき配慮も沢山していただき、気持ち良く世話人をさせていただきました。ゴルフと餃子をこよなく愛する敬愛すべき先輩のおひとりです。現在私は残念ながら腰を痛めてなかなか寒い時期はゴルフは出来ませんが

温かくなったらまた参加させていただこうと思っております。

それともうひとつ、率直な感想ですが・・・

こんな言い方は失礼かもしれませんが、皆さん本当にお元気です。そしてよくお食事を召し上げる。当初中華の例会の時に驚いたのが、比較的重い中華のおかずを沢山召し上げられ且つごはんをお替りされるのを見て、ビックリしました。私も最近はお替りをしています、今でもその日の午後は満腹で集中力が出ません。やはり食欲旺盛なのが元気の秘訣であろうと感心しました。

食欲旺盛と言って思い出したのが、地区の委員会で、児玉さんからわけもわからず頼まれ地区の青少年交換留学生の委員会をさせていただきました。メンバーは児玉さん、前橋さんでしたが、予定者段階から含めて1年半くらい楽しくさせていただきました。夜中の中華料理屋でテーブルいっぱいになるくらいのオーダーをする児玉さんの体を壊すくらい食欲旺盛なところに降参しました。

こうして皆さんと少しずつ委員会や同好会で縁が出来、多くの事を教えていただけるのであらうと思ひ、これからも楽しみであると感じております。

なんだか取り留めの無い話で、皆さんを退屈させてしまいましたので、これくらいにさせていただきますが、まだまだロータリアンとして未熟というか、3年経ってようやく入り口にたどり着いたような若輩ものです。今後とも諸先輩に色々ご指導賜り、少しずつ一人前のロータリアンになりたいと思っております。是非、よろしくお願い申し上げます。以上で年男の放談とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

## ■ 四つのテスト

「四つのテスト」とはロータリアンの道徳的指標です。人生のあらゆる面で適用すべきですが、特に事業生活、職業生活の面で活用することがふさわしいとされます。

言行はこれに  
照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか